

東方 プロジェクト

一番ほしいものの

乱道ハウス

一番ほし



乱道ハウス

一番ほしいもの



乱道ハウス
2008年 夏

私の名前は霧雨魔理沙
ただの普通の魔法使い 人間だけど
まあ その話はまた別の機会で

私は今
この師走の寒さで
本来的にたくもなないこんなところで
ある人と待ち合わせをしてる

なぜかというと

私が本人を
誘ったからだ。

そう、こいつだ。
博麗霊夢。巫女さん。天才。
本人は自覚してないけど。

お待ちせ!

遅いぜ!

ごめんごめん!

本当は、怒ってないけどね。
遅刻歴ならむしろ
私の方が多し。

ただ霊夢を叱る機会は
滅多にないから
ここは美味しくいただけかないと。





「これこれ
魔法・いず・あ
じやがいも」



あ、売れてる本
といえば……!



一般人向けの
魔法入門書
みたいな感じかな

可愛いキャラクターの
絵付きで魔法のアレコレを
分かりやすく説明しようと
してるっばい

じゃ……
じやがいも……?



……



はじめて見たけど、
やっぱり可愛いなあ……



ピアスかな？これ
案外霊夢に似合うん
じゃないかな



にしてもこの店、
色々あるな！

そうね…



ほら、霊夢の隠し味
みたいな感じとか

どうかなー
オシヤレとか
よく分かん
ないけど…



そうだな…

ダメだな…霊夢には
もっと意味のあるもの
選ばないと…



なんていうか

私には、ほしいものは
全部すぐ目の前にある
気がするなあ…

あれ？



気のせいかな、
霊夢って、さっきから
ずっと何か見てんじゃ…

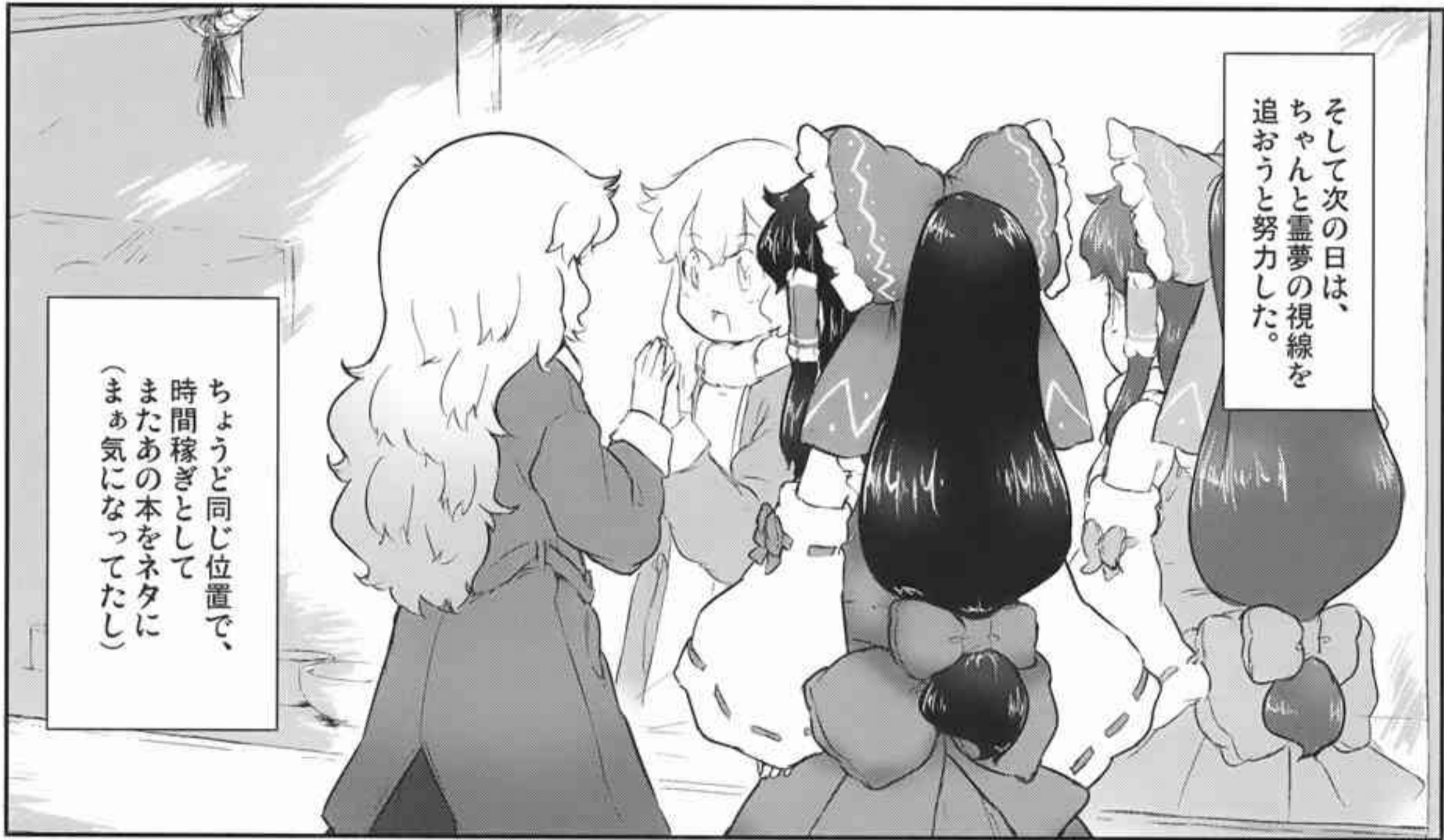






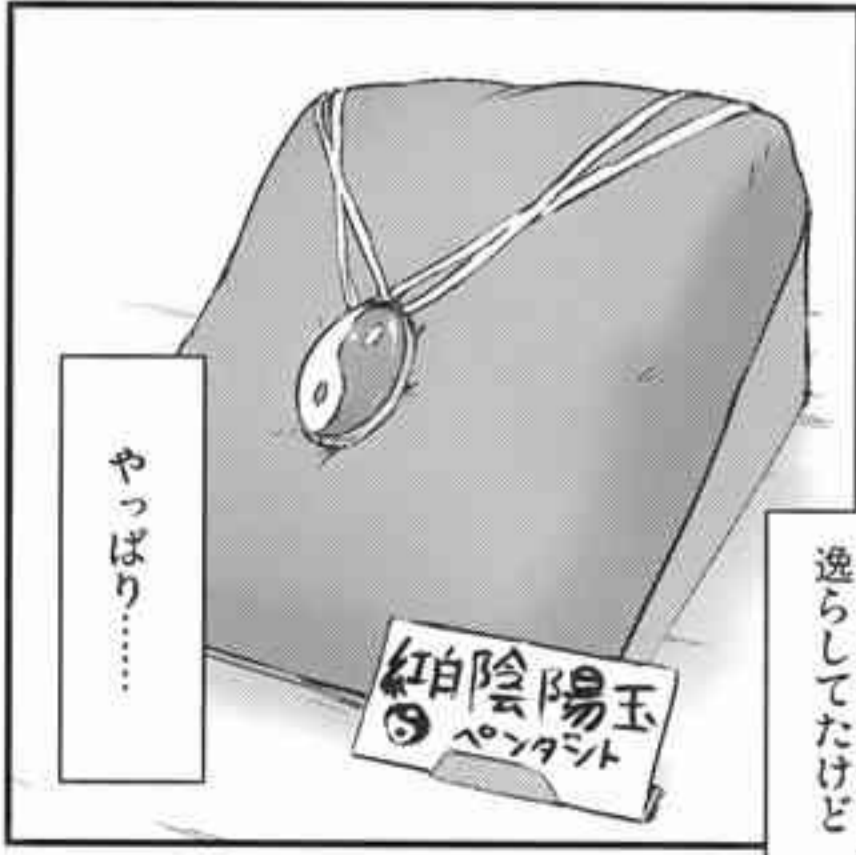
もちろん、
えのきも忘れてはいなかった。

それはいいとして、
あの夜の鍋はいつになく
美味しかった。
やっぱり飯は、
二人の方がいいな。



そして次の日は、
ちゃんと霊夢の視線を
追おうと努力した。

ちょうど同じ位置で、
時間稼ぎとして
またあの本をネタに
(まあ気になってたし)



やっぱり……

向こうも
一々上手いこと目を
逸らしてたけど



出来るだけさりげなく
観察して！



それと、霊夢は
自分が寂しくなってる時は、
自分では気づいてない気がする。

周りに人がいっぱいいると、
なぜか浮いてる気分になってしまう。
私はずっと見てきたから、分かるさ。
私も、同じだから。

でも二人でいるときは、
落ち着く。それが私達。

よし、私は寝るから
勉強頑張るな！

なにー









よし、
この調子だ

まあ
大したもん
じゃないけど…

さて、今度は
こっちの番かな

うわあ
きれいー

よし
いいぞー
いいぞー

どこで
見つけたの？これ

って、
あれ？

どーって…

町でこういうのも
売ってるの？

ちょっと期待してたのと
リアクションが違うぜ？

分かってたけどな…
すぐ決め付けるのは
よくなかった…
もう少し確認するべきだった

それでも 霊夢がこんなに
喜んでるのに…
こんなに綺麗なのに…

自分のバカなミスで
素直に嬉しくなれない

な たまにあるだろう
ダメだと分かっているのに、
理不尽な行動をとってしまう

何
言ってるんだ

まるで脳の考える部分と
行動する部分が
お互いの話を聞かなく
なってるような…

それ、お前があのお店で
ずっと見てたやつ
じゃないの!?

あーあ
やっちゃったな…





なんだかよく
知らないけど
魔理沙が私のせいで
泣いてるのはあまり
いい気分にはならないわ

だから霊夢のせい
じゃないって！
それより 私を
下ろさないで大変だろう！
ホウキで飛ばから！



不思議とその時、霊夢の唇から
「好きだから」という言葉が
漏れたようにも聞こえた



大丈夫 私に
しっかりつかまってくれば
絶対落としたりはしない

二人で落ちたら
どうする！



しかし幻想郷でも、
霊夢も所詮は人間の
女の子だけだな…



しかしここは幻想郷—
幻想もあれば、たまに
幻視も幻聴もあったりする…

ただ、これはあまりにも
現実感が強すぎて、
思わず「私も好き」と
答えてしまいたいそうになった

「捕まってくれば」だって？
お前を離すもんか





霊夢



私って……

ぼたん



魔理沙は
バカじゃないよ

ただ、問題が
ちょっと難しかっただけ

え



あつー



そして霊夢の味は、
乙女味だった。



えっとその
これはその…
平安の…
茶碗セットを
買い合わせで…

霊夢の言葉は、
宇宙語だった。



頭の中は、
真っ白だった。

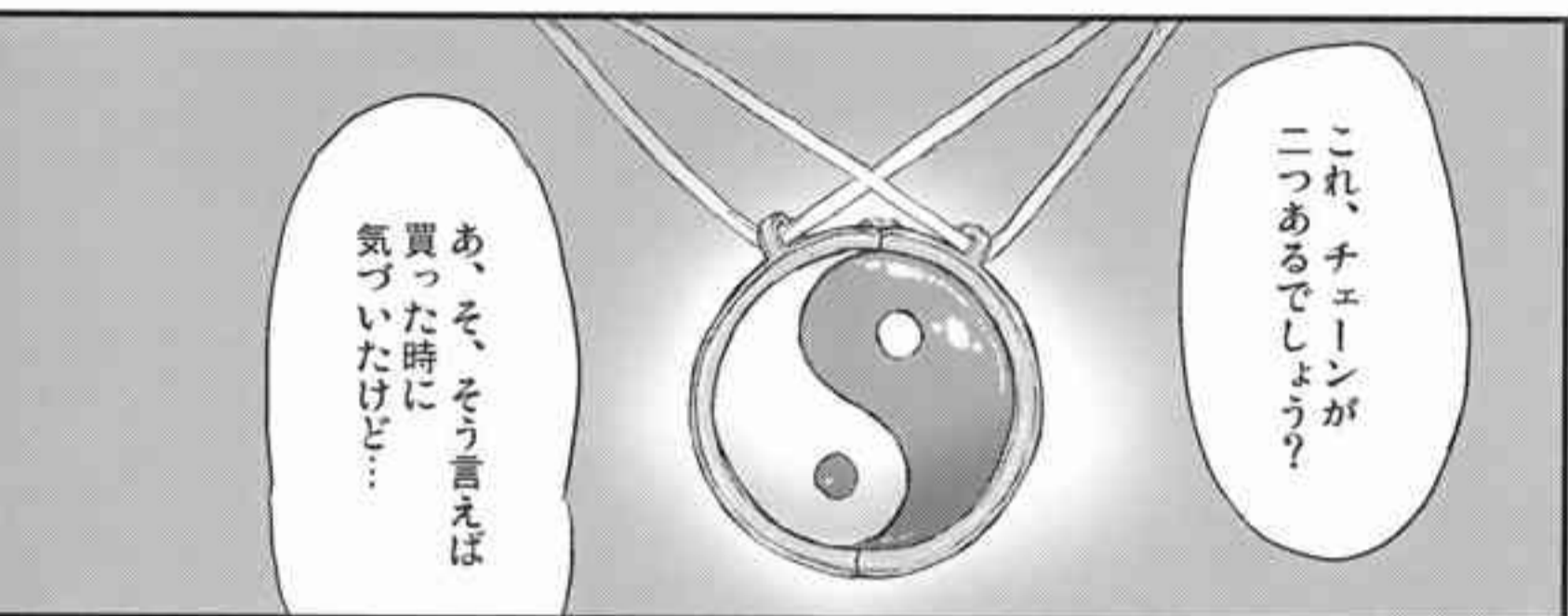
ふはあ



ここ、これから
ど、どう
なっちゃうの

と、溶けて
しまっ……

あ、そ、そ
そうだった
べ、ペンダント



どっちがいい？



魔理沙は、
紅と白



私、白はあるけど
霊夢の紅は、
あまりないから…

これから少しずつ
私の中の霊夢を
増やしていきたい…



あか
紅がいいな



にしても
不思議ね…

今まで
こういうの
大して興味
なかったのに…



もうー



—そう、貴方は少し業が深すぎる。



こんなに
大事に思えて
くるなんて…

嬉しいこと
言ってくれる
じゃないか

本当に
今まで…
……大事なもの……



霊夢……？



今まで…
大事なもの……



ただの自己満足
なんじゃないの
かな……って……

私に本当の
やさしさなんて……
無理……なの……？



でも本当に人のために
働いてるの？花の時から
疑問に思ってたはずなのに
忘れたのかな？

私はなんでいつもこう
でなきゃいけないの？
本当に自分の
意思で動いてんの？



そう……目を逸らしてた
かもしれない
分かってたはずなのに

巫女は神の代理であり
人のために働く者である



でも自らの手で
その希望を壊して
しまいそうで
怖くて怖くて

私が本当に
一番ほしいものは
あんたよ
魔理沙

あんたと一緒に
いられる
「資格」

それすらなく
なったら私にはもう
存在する理由なんて
ないじゃない

この世界から
消えちゃった方が
いいって思える



分かってるのよ……
私には幸せになる
資格なんてないって
ことくらい

私の罪は
深すぎる
でしょ

巫女としての
資格すら
ないでしょ

大した理由もなく
ただひたすら
人に怒鳴ったり
人を傷つけたり

たとえそれが
一番大切な人
だとしても



ただし
魔理沙と
一緒にいると

もしかして
私にはまだ
希望はある
かもしれない

そんな夢を
たまに見るの



私はただ
魔理沙と一緒に
いるのが好き

もういい
もういいんだ
霊夢

あんなこと
もう どうでも
いいんだ!

もう
忘れちまえ!

霊夢 私は
ずっとお前を
追いかけてきた

お前の勘なら、
それくらいは
分かってるだろう

あんな閻魔に
なんて言われたのかは
知らないけど

これだけは
はっきり言える

もしお前が
死んだら、たとえ
どこへ逝って
しまっても

私は必ず すぐ
追いかけてゆく

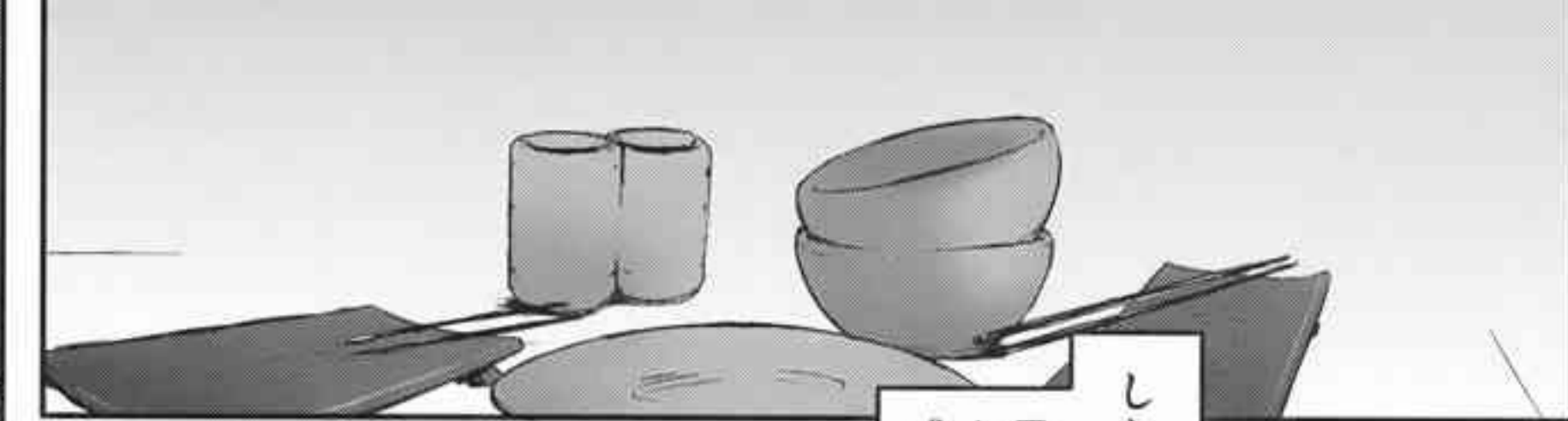
それは
保証する

霊夢のいない
人生なんて
考えられないぜ

魔理沙の...
...心臓の
...どきどきを
...感じるよ



あんなに色々悩んでたなんて



しかし
霊夢はいつも上の空って感じで

何考えてんだか全く分かんないんだよ



霊夢は 何一つも 変わる必要 なんてないさ

お前がビシッと 言わなきゃ、 色んなわけ 分からない奴らが 好き放題暴れるし

それに 地震でお家が 壊れたら、 そりゃとことん 怒っていいぜ

霊夢は一見 冷たい印象は あるかも しれないけど

みんなお前を 頼りにしてるぜ

お前のことが 本当にイヤ だと思ってるら いくら花見が 綺麗だって、 毎回毎回の 神社で宴会なんか やってられるか



お前のことが好きなのよっは いったいいるからさ



もうお前の側から 離れるもんか

私はもう……

あんな風に私のことを 考えてくれるだけで



それに 言っとくけどな 資格ってのは 自分で決める ようなもの じゃないさ

だからそんな 風に考えんなよ



ううん
ただこんなに
気持ちいいなんて
はじめてだから…つい…

れいむむ



霊夢
泣いてるの？
ごめん…
痛かった？



自分の大好き
な人も
自分のことも
好きだって
分かるとき

言葉でとか
じゃなくて、
本当にそう
「感じる」瞬間

これほど
気持ちいいことは
ないなと思っただけ



うん

—楽園に二人の少女がいた。
魔女と巫女。

一人は家族を捨て、
何事も努力すれば
なんとかなると信じた。

もう一人はもとより家族もなく
努力せずとも独りで何でもこなしてきたので
努力することに意味はないと信じていた。

魔女の罪は一つ一つは小さいが
あまりにも数が多すぎて、救いようがない。
息をするように嘘をつき、盗みも日常茶飯事。

巫女の罪は数は少ないが、
あまりにも深く、救いようがない。
彼女は神の代理人であるにも関わらず
信仰するどころか、たまに神に刃向かうことすらある。
そして他人を信じず、誰にも心を許さなかった。

その努力する魔女は巫女の才能を羨ましく思い、
巫女をずっと追いかけた。その秘密の真相を探そうとして。
これはたまに巫女にとっては迷惑であって、
巫女は魔女をしょうがない奴だと思っていた。

「私はこの空でお前をずっと見続けてきた。
お前はその空で何を見てる」

でも迷惑とはいえ、巫女にとって魔女と一緒にいるのは
けっして苦痛ではなかった。そして魔女もまた、
巫女と一緒にいるのが楽しくてしょうがない。
嫉妬からライバル感と同時に憧れも生まれた。
むしろ、巫女がいなければ、
魔女は退屈で退屈で死んでしまいそう。
そんな仲良しの二人であった。

だがそれだけではない。

二人の「独り」の少女はやがて
お酒も飲める歳の大人となって、
自分が「寂しい」であることに気づく。

魔女はいくら嘘をついても、巫女には通じないなんてずっと分かった。
そして巫女は魔女に、一人だけ心を許せる相手を見つけた。

愛には様々な形も、様々なきっかけもある。
これは単なる慰め合いや傷の舐め合いなのか？
いや、たとえそんな傷があったとしても、
そう毎日気にするほどのものでもないし。
では他に出会いがないから？
まさか。彼女達の出会いは星の数であった。
何者から逃げているのか？
いや、過去がどうであれ、
そんなことなんて考えてもいなかった。

単に、一緒にいるのが好きで好きでたまらない。

愛し合うには、これに勝る理由などどこにある。



おとしもの



あのラストはちょっと「キレイなれいむ」すぎたかな…(汗)

乱道の人が
無理して4コマを
描くの巻



たかのひとはびゃーきてす



ごめんなさいごめんなさいorz



FreeTalk

はじめましてorお久しぶりです。乱道ハウスの乱道と申します。
この本を手にとっていただき本当にありがとうございます。
しかし明らかに季節外れだこりゃ！クリスマスの話なんて！
去年の紅楼夢か冬コミ辺りに出したかったけど間に合わなくて。
でもまたクリスマスの季節になると、改めて読んでいただけると嬉しいなーと思ったり。

今回はいよいよ初めての一般向け漫画なのでいつもより
張り切っていこうと思いました。ところが実はまんがのまの字すら
よく分からない乱道でした。まだまだ修行不足であります。

そして今回の内容について。
さすがにちょっとやりすぎたんじゃないかと心配（汗）。元々この話にあんな
ちょっと重い感じのネタを詰め込むつもりは最初からなかったけど、途中で
妙な熱が出ちゃって。霊夢×魔理沙に関しては本当に病気なので時々手加減知らず…。

まず霊夢はこんな感じじゃねえだろう！という印象はありそう。
世間では霊夢はもっと怒りっぽいイメージかもしれない…たしかに緋想天等では
特にそんなイメージが強いかもしれないね。それでも甘々なレイマリラブを
どうしても描きたい自分なので、風神録をプレイして（今のところ一番熱が高い作品！）
霊夢は最近色々悩み始めたんじゃないかって。自分のやってることとか、
神社のこととか、巫女としての立場とか。

そして間違い探し。
実は途中で他の仕事等で一度一ヶ月近くの作業ブランクがありましたので
途中で絵柄が微妙に変化したりとか進化したりとか。笑
あとそのブランクが終わってからやっと博麗神社の外見の公式設定みたいなものも
ちゃんとあるってことに気づいて、できるだけ合わせようとしたんですが
さすがにうちの神社は公式と異なりますね。笑
まあそこはどうか大目に見てやって下さい！

それにしても、一読者としては東方は本当に恵まれてるジャンルだなと毎回思いますね。
これほど高いレベルの作家さん達の色んな「東方」が見られるのはいつも感動します。
私も置いてかれないようにもっと頑張らないと…。
私の「東方」も「あり」だと考えていただけるようになればな一と。

そんなわけで次は何にしようかまだ迷ってます。レイマリなら単行本一冊くらい
できるほどのネタがでてきそうですが、さすがにみんなもう飽きちゃったかな！
私も違うキャラに挑戦してみたいし。笑

ではでは、どこかでまたお会いしましょう。



スペシャルサンクス

大和印刷所 上海アリス幻楽団

NMS, OEKT, KMCH, RKGK, IRDRE, SKNJGK, 某エチャのみなさん
モタさん、米さん、A☆Eさん
とりさん (フリートークページのデザインありがとうございました！)
他に応援してくれたみなさん
誰か忘れたら申し訳ありません！

そしてこの本を手にとっていただき
真にありがとうございます。

乱道ハウス
2008年8月

奥付

一番ほしいもの

発行日 2008年8月16日

サークル 乱道ハウス

著者 乱道

印刷 大和印刷所

ジャンル 東方プロジェクト

サイト <http://randou.jp>

メール randou@randou.orz.ne.jp



乱道ハウス

あなたは、何が一番ほしい？

<http://randou.jp>